

KBI NEWS

〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL : 0743-70-8600
 FAX : 0743-70-8601
 編集・発行人：大田裕作
 郵便振替：01140-6-67708
 銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453
 Eメールアドレス：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ：http://www.kbiwave.com



主に召されて

聖学院大学

窪寺 俊之



二〇一六年四月から牧会事例研究という授業を担当させていただいています。牧会で体験するテーマを取り上げ、参加者が意見交換をする授業です。今までに、健康・家庭・経済・人間関係などを扱いました。これからは病人への牧会配慮・愛する人を失った家族への牧会配慮・葬儀・グリーフワークを取り上げる予定です。

牧会ではしばしば、いろいろな問題を抱えます。予備知識があれば慌てずに対応できるかもしれませんが、牧会で出会う問

題は無数にありますから、すべての問題は扱えません。

結局、牧会の使命を続けるには、召命感 (calling) と使命感 (mission) が要だと考えています。神様が私を特別に選び出して、神様のお働きの一端に加えてくださったという信仰が牧会に足を留まらせ、成功に導く鍵だと思います。

パウロの人生は貧困、迫害、海の難などの連続だったとパウロ自身が語っています。そして、宣教の過程で死を覚悟することがあったと告白しています。

「わたしたちは耐えられないほどひどく圧迫されて、生きる望みさえ失ってしまいました。わたしたちとしては死の宣告を受けた思いでした。それで自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。」(コリントII一章八〜九節) 絶望的危機に直面してパウロは死者を復活させた神様にすがったとありま

す。苦難を乗り越える鍵が見てとれます。私自身パウロの絶対的信仰からいつも慰められ励まされます。「だが、キリストの愛から私たちを引き離すことができません。艱難か、苦しみか、迫害か、飢えか、裸か。剣か：未来のものも他のどんな被造物も、わたしたちの主キリストイエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」(ローマ八章三五〜三九節) 神の絶大な愛の前に、艱難は消えてしまいま

す。めまぐるしい変化の現代に生きる人々は、疲れ、傷付き、行き先を見失っています。私たちは現代人の魂を癒し、未来に希望を与えるいのちの言葉を携えて出て行きます。キリストに召された誇りと人々に仕える謙遜さが、福音に仕えるものに必要でしょう。日々の研鑽と自らの信仰の成長が、主を仰ぎ人々に仕える者としての喜びを加えてくれるでしょう。人々の魂の平安と地上に平和の実現することを祈ります。

日本伝道会議

JCE6レポート

関西聖書学院 学院長

大田 裕作

JCE6は Japan Congress on Evangelism Vol.6 の略です。

一九七四年スイス・ローザンヌでの第一回世界伝道会議に呼応して、京都で第一回目の日本伝道会議が開催されました。主講師はジョン・ストット氏でした。以来京都、京都、那須塩原、沖縄、札幌と八、九年に一度開催され、今回の神戸が第六回目でした。今回の主講師には二〇一〇年ケープタウン大会での神学委員長クリス・ライト氏。二〇〇〇名余りの参加者が氏の正統的かつ宣教的な講演に耳を傾け、六、八名ごとのテーブルグループで分かち合いをしました。

午後十六のプロジェクト(分科会)に分かれての学びです。私は今回は初めて準備段階から参加しました。その「教会増殖」の部門は今回ようやく新設された委員会でした。日本伝道会議

と銘打ちながら、開拓伝道や教会増殖がプロジェクトとして取り上げられてこなかった事実がまず、日本の教会の神学的関心への偏重を感じさせるものです。ともあれこの分科会への関心は期待以上に高く、連日百三十名、百五十名の参加者を数え、熱心な発題や質疑応答、ディスカッションと折りがなされました。熱い空気が流れました。この部門の掲げるビジョンは二〇三〇年までに日本人口の二%を超える回心者を獲得するというものです。そのためには従来型の教会の拡大的成長(求心的)とともに、信徒一人一人が生きたキリストの証人とされて、その生活の場所で「宣教の拠点」となっていくことの重要性が確認されました。これはもう五十年以上も前から訴えられている信徒主導の教会形成で、教職者とそのコーチ役になっていく——まさしく聖書的な——チャレンジです。今後伝道会議は七年に一度開催の予定です。これからの七



年はビジョンの浸透、地ならしと種まき、次の七年は収穫です。日本のどの自治体で最初の凱歌(二%突破!)があがるのでしょうか。これは宣教学上の「未伝部族(二%以下の信徒の国や部族)」という有り難くない分類からの汚名返上そして世界宣教への貢献に向かう必然的な挑戦です。一緒に手に手を取って戦わせていただきたいものです。

<KBI 生製作 CD 購入ご希望は KBI 事務室まで>



VOICES To HEAVEN

KBI STUDENTS

JCE6 日本伝道会議
教会開拓・教会増殖プロジェクト
テーマ曲「ニッポン」収録
定価1,000円税込

voicestoheaven.wixsite.com/kbicdproject

収録曲

- 1 VOICES TO HEAVEN
- 2 BREAK THROUGH
- 3 あなただけに
- 4 我が罪のため
- 5 TAKE MY HAND
- 6 主の勇士
- 7 御前にひれふして
- 8 ニッポン
- 9 WALK MAN
- 10 キリストのからだだから

分科会に参加して

三年 鈴木孝紀

私は、第六回日本伝道会議（JCE6）で『いのちと性のサポートミッション』の分科会にボランティアとして参加しました。教会は今『いのちと性』に関する様々な問題に直面しています。分科会の中で先生や参加者の方々が危機感を持ちながら真剣に取り組んでいる姿を見て、私自身もいち早く現場に出て、この問題に取り組む者として働きたいと思われました。

『いのちと性』に関する注目度は日本の教会でも高まってきていますが、この問題に関する学び会などの参加者は女性が多く、今回の参加者四十名のうち男性は七名ほどでした。日本の教会がこれから更に複雑化する『いのちと性』の問題に込めていくには、あらゆる年代の方々の関心が高まることと、男性の参加がもっと増えることが必要だと感じました。

『いのちと性』の問題に、私たちは聖書にもとづいて答えを

得ることができません。人の価値観ではなく、神の価値観によって判断し、その問題の渦中にいる人々にキリストの愛でアプローチできるのは私たちクリスチャンだけではないでしょうか。

今回のJCE6は、内側から燃やされる会議でした。七年後の開催もとても楽しみにしています。

神の宣教への協力

二年 長野有花子

神戸で第六回日本伝道会議がもたれ、メイン講演ではクリストファー・ライト師が「再生へのREVISION」をテーマに語ってくださいました。

まず私たちは神によって目が開かれ、すべての事について神の目線で見ることが大切です。私たちは罪人でしたが、イエスキリストの十字架によってすでに神と和解した者です。アブラハムを通してすべての人を祝福する約束があるように、ユダヤ人も異邦人も、教団や教派も関係

なく、私たちは神と和解した者であり、人々を祝福する者です。神の宣教という光の下で見ると、互いが一致することは神の宣教のはたらきに協力することです。だから教団教派が違うからと言ってはいられません。

私たちが本当に神によって目が開かれると、神の思いに合わされていきます。神がなさりたいことは、すべての人を救うこと。すべての人は、一人ひとりがユニークな存在です。その人たちに福音を届けるためには、多様性が必要です。それぞれの教団や教派のカラーを尊重しつつ、先に罪が赦され救われた者として、一致して神の宣教に参与していくことが大切だと、改めて考える機会となりました。

この伝道会議には沢山の伝道者の方々が集まっておられました。私たちが教団教派を超えて、神と和解させられた者として一致して神の宣教に協力していく時に、私たちの思いをはるかに超えた御業がなされるのだと思います。



KBIを覚える日

三年 塚本賢太郎

主を賛美します。私は一年生の羅泰日兄と共に、敦賀自由キリスト教会へ行かせて頂きました。KBIを覚える日は、毎年新しい出会いがあります。そして、日頃からたくさんの祈りと捧げ物により、私たちの学びが支えられていることの感謝を再確認します。

土曜日に到着し「ごすやん」という集会の中で、イエス様を信じてから二年の兄弟と、二人の姉妹と賛美をして、イエス様



との出会いの証をさせて頂きました。敦賀自由キリスト教会の兄弟姉妹が、純粹にイエス様を信じている姿に、私は心から感動しました。集会後みんなでナポリタンを作り、食事を共にし、交わりの時間を楽しみました。ギターサークルでは、七十歳を過ぎてからギターを始められた兄弟と共に主を賛美しました。

主日礼拝ではワークショップ、証、礼拝説教の奉仕をさせて頂きました。午後は「秋カフェ」という、未信者の方や教会のメンバーのご家族をお迎えして、賛美、証をし、季節のお菓子を食べながら楽しい時間を過ごしました。

日本各地の教会で主イエス様が褒め称えられ、礼拝が捧げられていることに毎年感動を覚えます。今回も奉仕や交わりの中で主からの豊かな恵みを頂きKBIに帰ってきました。ますます敦賀自由キリスト教会が、神様の栄光のために用いられるようお祈り致します。

二年 佐々木望

今回私は、神戸フィラデルフィア教会へ伺いました。十二日は、金牧師をはじめ教会の方々、子どもたちとともに、公園伝道へ行きました。その中で、伝道は子どもからお年寄りまで生涯現役でできる、と教えられました。主からの情熱を受け取り、子どもたちや地域の方々には伝えて伝道しておられる姿に、私は励まされました。そして、私も、主からの情熱を受け取り、その情熱に燃やされて、人々に仕えて行く者になりたいとチャレンジを受けました。

十三日には、礼拝とともに捧げられたこと、KBIのためにともに祈ってくださったことを、心から感謝しています。礼拝後は、教会学校を開きました。子どもたちとともに賛美し、御言葉を聞き、その後ワツフルパーティーを行いました。初めはワツフルを大人が焼いていたのですが、子どもたちが自らワツフルを焼いて振舞ってくれて、とても楽しい時間でした。私たちが今KBIという学び舎で学べているのは、多くの方の支えと祈りがあるからこそだと、今回の

覚える日を通して更に深く感じました。この二日間は私にとって感謝な時であり、励まされた時でした。いつも支え祈ってくださいありがとうございます。



一年 光山章姫

私は西宮福音教会を訪問してきました。大学生会と中高生会、礼拝やカフェなどを通じて皆さんの交わりを持たせていただきました。印象的だったのは、大学生会に来た方が教会に繋がるようになった理由を「ここは僕の話を表面的でなく、ちゃんと聞いてくれたから」と教えてくれたこと。また、近所の小学生が連日教会に来て、我が家のようにくつろいでいたことです。彼らのほとんどが未信者家庭の子どもです。スタッフの方は「ただ場所と時間を提供しているだけです」とおっしゃっていました。ですが、このように教会をオープンにするのは簡単ではありませんが、一人ひとり丁寧に繋がることで福音伝道に繋がっているのは、自然でいいなと思いました。

そして一番印象に残ったのは、教会で遊んでいる子どもたちを見ながら、白田牧師が「この中に未来の牧師、宣教師がいるわよ」とおっしゃったことです。教会の方からも「多くの献身者がKBIから起こされるように祈っています」と、たくさん声



をかけていただきました。西宮福音教会から多くの献身者が輩出されているのは、目の前に見える現実のその先に、神様と同じ宣教のビジョンを見ているからなのだと思います。改めて神様がどのようにこの日本を見ているのかを考える時となり、日本の教会から多くの献身者が起こると宣言し祈ろうと思いました。

KBIを覚える日報告 (11月12~13日)

諸教会の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。

【学生チーム派遣奉仕教会】

小松ベタニヤ福音教会	南部キリスト教会	鈴鹿キリスト福音教会	須磨自由キリスト教会
上郡福音教会	和歌山福音教会	泉南福音教会	園田チャペル
神戸フィラデルフィヤ教会	さんだグレイスチャペル	西宮福音教会	箕面福音教会
東京グレイス福音教会	岬福音教会	敦賀自由キリスト教会	山陽キリスト福音教会
ベテル清水教会	浜松汀キリスト教会	八尾南福音教会	

【理事・教師奉仕教会】

町田純福音教会 (大田裕作師)	雲井キリスト福音教会 (大田伯子師)
瀬戸サレム教会 (大田裕作師)	垂水福音教会 (大田伯子師)
守山キリスト福音教会 (大田裕作師)	東京チャペル (吉田隆師)
名古屋グレイスキリスト教会 (マーク・マグヌソン師)	八尾福音教会 (相馬浩師)
多聞福音教会 (北秀樹師)	千代田福音教会 (グレアム・フォーセット師)
善通寺バプテスト教会 (道本純行師)	深草キリスト福音教会 (豊村泰師)
ベタニヤチャペル (芳三容子師)	北鈴蘭台教会 (林田清隆師)
HOPE HOUSE (トーベ・ボルヨソン師)	ホープチャペル (ジャン・ドウゲン師)
岡山チャペル (トーベ・ボルヨソン師)	

皆様からの尊い献金を感謝します。45教会より合計 ¥1,679,356 (11月21日現在)

公開授業

「狭い道」

祝福された公開講座

岐阜純福音教会牧師

小山大三

十月十二日、十三日の二日にわたり、デイビッド・W・F・ワング博士をお招きして、講師の新刊書「狭い道」をテーマに公開講座が持たれました。KBI生五名がそれぞれ翻訳の一部を担い、大田学院長も校正を担って下さり、講座の前日に訳書が出来上がってきて、参加者の学びにとって大きな助けとなりました。

ワング博士は、「最後まで走り抜け」の著者として知られています。長年の牧師としての経験と世界的リーダー養成機関であるハガイ・インスティテュート校での実質的責任者としての経験から、ユーモアにあふれた小話を講義の合間に入れながら、難しいテーマを分かりやすく教えてくださいました。

「狭い道における主の訓練」がどのようなものか、三回に分けて次のテーマで語って下さい

ました。(詳しくは、ワング師の「狭い道」を参照。)

一、流れに任せるか、逆らうか

死んだ魚は流れのままに流されるが、生きた魚は流れに逆らって上ることが出来る。この世の中にあつて、様々な教えの中にあつて、少数者であつても真理に立って生きることがクリスチャンに求められている。

二、危険は片側か両側か

クリスチャンの歩む道は、山道のように片側が安全な山側で片側が危険な谷間のような道に例えられるが、実は両側に危険な谷間のある尾根道に例えるのが適切である。「右にも左にもそれではならない」(ヨシユア記一章七節)と主が語っておられるように、両側から危険が待ち構えている。どちらの極端にも走らないように気をつけなければならぬ。

三、バランスと集中を保つ

狭い道の中央にも、なまぬるさ、妥協という罣が潜んでいる。綱渡り師のごとくに、右にも左にも落ちないように絶えず集中とバランスを保ち、イエスに目を留めている必要がある。

公開セミナーに参加して

ジャパン・ベサニ・ミッシェン牧師

三堂弘治

ワング先生の「狭い道」公開セミナーは、とても良い学びの時となりました。「狭い道」の話は、人生のターニング・ポイントとして、説教にもよく用いられる聖書箇所ですが、先生のお話を聞きながら、これは単に狭い道を選ぶことだけを教えているメッセージではないと気付かされました。「狭い道」とは、「山道」のように片側だけに危険があるのではなく、「尾根の道」のように両側に危険があります。故に、私たち信仰者が、キリストの弟子として歩む時に大切なことは、狭い道を右にも左にもそれず、バランスを取りながら集中して中道を行くことです。主イエスは、律法を守りながら、恵みを示されました。

とバランスを保つことが出来るようになります。キリストが歩まれた狭い道を思う時、よりキリストに近い者とされたいと強く思わされました。主に心より感謝致します。



小山師

ワング博士

「狭い道」

デイビッド・W・F・ワング著



ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2016.5.16～11.21）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人：高橋めぐみ、大田裕作、安黒務、黄金井尚美、門谷皖一、斎藤邦夫、大塚泰文、伊達山洋子、兼松道子、菅徹哉・直美、豊村善典、田中憲昭、藤木頼子、安野清子、石崎政登、安食弘幸、増永弘、岩本美保、井野葉由美、山田裕一、福元玲子、秋元清友、小山大三、酒井哲男、在原繁、林田清隆、塚原利喜男・真理、山口美恵子、熊本直美、山本篤、清水弘輔、坂田宏・紀志子、竹原義和、鶴野英子、松田迪子、森島孝志・しのぶ、福島好司、辻村順子、真島義典、鳥袋玲奈、デイビッド・ワング、匿名希望1名、氏名不詳3名

教会 & 団体：可児福音教会、箕面福音教会、旭川神愛キリスト教会、アドラムキリスト教会、札幌キリスト福音館、京都シオンの丘キリスト教会、カナン・ブレイズ・チャーチ、ゴスペルチャーチ千里、奈良キリスト教会、ゆうあいちゃべる、奈良福音教会、千代田福音教会、ミッション宣教の声、泉南福音教会、尾上聖愛教会、チャペル犬山、北広島チャペルキリスト教会、狭山福音教会、東京チャペル、垂水福音教会、設楽キリスト教会、金沢独立キリスト教会、北浜インターナショナルバイブルチャーチ、西可児キリスト教会、高砂教会、生駒福音キリスト教会、名古屋グレイスキリスト教会、湘南グレースチャペル、大阪キリスト栄光教会、岐阜ライフチャーチ、ゴスペルハウス静岡、高槻一麦教会、大阪救霊会館、垂水福音教会、小森野キリスト教会

<運営支援献金>

1. 支援団体献金

ペンテコステ合同聖会（栄シャローム、町田、保土ヶ谷、鶴見4教会）岐阜純福音教会、保土ヶ谷純福音教会、犬山キリスト純福音教会、鶴見純福音教会、KBI支援協力会（FCMF諸教会）御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、ジャパン・ベサニー・ミッション、日本福音教会（JEC全教会・チャペル）、フィラデルフィヤグループ合同集会、亀岡バタニヤ教会

2. 特別献金

個人：後山慎治、石倉美奈子

教会 & 団体：信濃チャペル

<KBIを覚える日献金>

鶴見純福音教会、南大阪福音教会、多聞福音教会、守山キリスト福音教会、小松バタニヤ福音教会、南部キリスト教会、鈴鹿キリスト福音教会、上郡福音教会、和歌山福音教会、泉南福音教会、園田チャペル、東京グレイス福音教会、敦賀自由キリスト教会、山陽キリスト福音教会、北鈴蘭台教会、垂水福音教会、ホープチャペル、東京チャペル、笹井キリスト福音教会、須磨自由キリスト教会、神戸フィラデルフィヤ教会、さんだグレイスチャペル、関西カルバリーフェローシップ、箕面福音教会、ベテル清水教会、浜松汀キリスト教会、町田純福音教会、八尾福音教会、千代田福音教会、深草キリスト福音教会、バタニヤチャペル、HOPE HOUSE、京都クリスチャンフェローシップセンター、八尾福音教会平野集会所、堺シオン福音教会、岐阜純福音教会、堺福音教会、グレイス神戸ミッションチャーチ、宝塚福音教会、ゴスペルチャーチ千里、山の辺クリスチャンセンター、ヒルズチャーチ、岡山チャペル、雲井キリスト福音教会、岬福音教会

■奨学基金献金

個人：出原市子、芝連代、竹川正英、在原繁、金森徹・和子、轟節雄、石倉美奈子

教会 & 団体：小松島チャペル、北広島自由キリスト教会、西可児キリスト教会、生駒福音キリスト教会

■建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：伊勢崎神愛キリスト教会、岐阜純福音教会、チャペル犬山、秦野クリスチャンセンター、生駒福音キリスト教会

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

新入生募集

《コースと費用》

- 短期コース [3週間] 69,000円 (授業料、寮費、食費) 締切り2月28日
- 本科コース 1～3年 入学金50,000円 660,000円/年 (授業料、寮費、食費)
第一次締切り……2月20日、第二次締切り……3月15日
- 開拓伝道者養成・教会再生/刷新希望者コース (CPRC)
CPRC=Church Planting & Renewal Courseの略
従来からの開拓者伝道養成に加えて、教会再生刷新に取り組まれる方々へのニーズにも対応するコースです。
- 宣教師訓練コース、通信教育コースも募集しています。
各コース資料請求は、事務所または、ホームページよりお問い合わせ下さい。

電話：0743-70-8600 FAX：0743-70-8601

E-mail：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

HP：http://www.kbiwave.com



●行事予定●

- 一月十日(火) 三学期始業
- 一月三十一日(火) KBI教師会
- 二月一日(水) ～十日(金) 三年生アウトリーチ(ネパール)
- 二月一四日(火) ～一七日(金) 後期テスト
- 二月二一日(火) KBI理事会
- 三月九日(木) 卒業派遣式

理事会を のぞいてみると…

KBIの理事会は通常年間四～五回持たれます。今年度は四月の入学式当日、五月三十一日、十一月八日、そして年明けの二月二一日となります。午前十一時が開会です。賛美とみ言葉、祈りをもって会議が始まっています。

理事会の議題は通常、教務(学生の状況・カリキュラム、スタッフや教師などの人事)、行事関連、財務(施設管理や経済状況)、さらには将来ビジョンやKBIの方向性の健全性のチェックなどが話し合われ、最後には涉外(支援運営団体との連絡、全国的な超教派の行事との調整など)に関することが確認されます。KBIが急速に変化する時代を敏感に察知しながら、その必要や課題に的確に対処しているように意見を交換し合っています。会のムードは基本的には和やかで、調和と相互尊重が底流にあります。理事会は現在十一名の理事、一名のオブザーバーで構成されています。